ふじみ野市

文化財だより

第７号

発行日　令和４年９月15日
発行者　ふじみ野市教育委員会
社会教育課文化財保護係
TEL 049-220-2088
FAX 049-261-5100
bunkazai@city.fujimino.saitama.jp

ナラ枯れにより上部が枯れた樹木（現在、この部分の剪定は済んでいます）

虫によってあけられた穴（矢印部分）

「権現山古墳群史跡の森」のナラ枯れ被害

新河岸川のそばに「権現山古墳群史跡の森」があります。徳川家康（東照大権現）が鷹狩りに来た際に、ここで休息したことから「権現山」の名がついたという伝承があります。

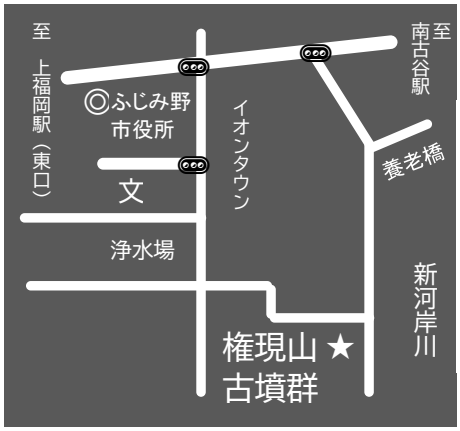
ここには、特別緑地保全地区（約 3,735 ㎡）にもなっている広い雑木林と約 1,700 年前の古墳時代前期の古墳群があります。前方後方墳１基、方墳11基で構成されており、そのうち９基が残っています。この時期の古墳群は現存するものが少ないため、平成14(2002)年３月 22 日に「埼玉県指定史跡」に指定されました。

その後「権現山古墳群史跡の森」として整備し、公開していましたが、敷地内の樹木が、ナラ枯れの被害にあっているため、令和４年７月 25 日から閉鎖しています。

「ナラ枯れ」とは、カシノナガキクイムシによりナラ・シイ・カシ類の樹木が枯れる現象で、ここ数年全国的に拡大しています。この虫のメスが保有する「ナラ菌」が、樹木内部で繁殖することで、木の内部を腐らせ、枯らしてしまうのです。権現山古墳群史跡の森では、令和３年度に初めてナラ枯れが確認されました。

カシノナガキクイムシはもともと日本にいた虫でした。かつて雑木林の木は、薪などに使うため、こまめに伐採していました。現在は樹齢を重ね大木になり、老木となっているため、虫がつきやすく、被害が拡大したようです。

カシノナガキクイムシの休眠期に、ナラ枯れの木を伐採し、安全確認後、再開する予定です。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



●所在地
滝 1-5

※現在閉鎖しています。

ほうきの材料

ホウキモロコシを収穫しました！

家庭の掃除もロボットが行う時代となりましたが、昔から変わらずに使われている掃除道具に「ほうき」があります。室内を掃くために使う「座敷ぼうき」の形は、江戸時代（250年くらい前）に生まれたと言われています。

ふじみ野市では江戸時代の文化・文政期（1789～1800 年）に、大井村市沢（現在の市内市沢）の内田兄弟が上練馬村（現在の東京都練馬区）でほうきづくりの修行をし、このあたりに広めたと伝わっています。ほうきづくりは、大正時代（1920 年代）から昭和30年代（1960 年前後）まで、ふじみ野市域においては、主要な産業の一つでした。

ほうきづくりの材料は、とうもろこしと同じイネ科の「ホウキモロコシ」で、穂の部分を使います。ホウキモロコシは、肥料が少ない土地でも育ち、育てる期間も約 100 日と短いため、ほうきづくりが盛んだった頃はよく栽培されました。また、畑の力が回復するのにも役立ったそうです。

今回は、「ほうきづくり友の会」と一緒に行ったホウキモロコシ畑の作業を紹介します。

見に行ってみませんか？

◆大井箒記念碑

（市沢二丁目5　市沢公園内）

大井箒の由来や歴史が書かれています。記念碑のとなりにある大井地域（市内西部）の図では、昭和３０年代のほうき職人の所在地もわかります。

◆上福岡歴史民俗資料館

（長宮一丁目2―11　電話 049-261-6065）

上福岡地域（市内東部）の考古・歴史・民俗を中心に紹介している資料館です。

常設展示室には「ほうき」のコーナーがあり、ほうきの種類や作り方がわかります。

（毎週月曜日・年末年始休館）

4月

畑の準備

●畝(うね)づくり
　種がそだつところです。
●肥料をまく

種の準備

種は、まく前日から水につけておく。水に沈んだ種を使う。

種まき

畝に約 20 ㎝(500ml ペットボトル1本分)の間隔で、直径3センチほどの穴をあける。
1つの穴に種を5粒ほどまき、周りの土をかける。

5月

間引き（まびき）・草取り

1か所に、まとまって生えているホウキモロコシのうち、丈夫なものを2～3本だけ残して、他は抜く。周りに生えている雑草も取る。

6月

収穫直前のホウキモロコシ。
2m位に伸びます。

7月

8月

収穫

穂の部分だけ収穫する。
葉と穂を持って、一節目をとります。

脱穀

茎の部分を 40 ㎝位に切りそろえる。ガーコン(足ぶみ脱穀機)で実を取る。

天日干し

脱穀が終わったらすぐ外に干して乾かす。2 日目からは、穂の部分にゴザをかけて、茎だけが白く仕上がるように１週間ほど干す。

その日のうちに、脱穀しないとアクがでて、穂が黒くなってしまうため、1日で実施しました。

9月

穂分け

干しあがった穂を、太さや穂の長さで分け、ほうきづくりに備える。

10月

11月～

ほうきづくり

もともとは、農作業の少ない冬の仕事として、ほうきづくりは広まっていった。
現在、市内でも職人は、一人しかいない。

ほうきづくりの体験学習

11 月 19 日（土）
①10:00～②13:30～
※詳細は市報 10 月号をご覧ください。

イベントカレンダー（9月～11月）

＊開催時間等、詳しくは市広報等でご確認ください。
＊コロナウィルス感染拡大防止のため内容を変更して開催または中止する場合があります。

9月		
～18日(日)	最新出土品展「古代・中世のふじみ野」	上福岡歴史民俗資料館
～19日(月・祝)	巡回平和展「ふじみ野1942」	大井郷土資料館
10日(土)	はたおり体験・福岡河岸記念館特別公開	福岡河岸記念館
11日(日)・25日(日)	まちさんぽツアーガイド養成講座①・②	ふじみ野市役所
25日(日)	まちかどコンサート	福岡河岸記念館
10月		
1日(土)～11日(火)	展示「上福岡歴史民俗資料館友の会活動 etc」	イオンタウンふじみ野
2日(日)・6日(日)・30日(日)	まちさんぽツアーガイド養成講座③～⑤	ふじみ野市役所他
8日(土)	福岡河岸記念館特別公開	福岡河岸記念館
9日・23日(日)	まちかどコンサート	旧大井村役場
23日(日)	竹とんぼづくり	上福岡歴史民俗資料館
15日(土)～21日(日)	最新出土品展「古代・中世のふじみ野」	旧大井村役場
25日(火)～12月11日(日)	特別展「武士の群像～ふじみ野の中世　フロンティアの時代～」	大井郷土資料館・上福岡歴史民俗資料館・福岡河岸記念館
29日(土)	友の会特別展関連講座「ミヤコの仏師、東へ」	上福岡歴史民俗資料館
11月		
5日(土)	福岡河岸記念館特別公開	福岡河岸記念館
6日(日)・27日(日)	まちさんぽツアーガイド養成講座⑥・⑦	ふじみ野市役所他
12日(土)	講座「遺物に見るふじみ野の中世社会」	大井郷土資料館
19日(土)	ホウキモロコシでつくるミニほうき	福岡河岸記念館
20日(日)	講演会「北条氏の領国支配と村落の人々」	大井郷土資料館
26日(土)	歴民学習講座	大井郷土資料館

●文化財日誌（令和４年６月～８月）

６月１日　埼玉県文化財保護協会評議員会
６月７日　入間東部地区文化財保護協議会理事会
６月７日　資料館・文化財ボランティア会議
６月９日　東台小学校３年生ほうき授業・種まき
６月14・21日　駒西小学校文化財展示室作業
６月20日　令和４年度第１回文化財保護審議会
６月23日　入間東部地区文化財保護協議会会員研修
７月３日　講演会「ひろがる　やさしい日本語の世界」
７月５日　資料館・文化財ボランティア会議
７月５・６日　さぎの森小学校文化財展示室公開
７月９日　古い商家ではたおり体験
７月25日～　権現山古墳群史跡の森閉鎖
７月30日　ホウキモロコシの収穫・脱穀作業
８月２日　資料館・文化財ボランティア会議
８月３日　権現山探検「葉の標本づくり」
８月６日　ホウキモロコシの収穫・脱穀作業
８月20日　古い商家ではたおり体験

市内の文化財・遺跡情報が満載

遺跡情報システム

遺跡情報、指定文化財、石造物、神社仏閣などの場所や情報を検索できます。
▼2022年７月アクセス数879件（昨年比-8）

近場で楽しもう！文化財ガイド

市内の文化財、神社仏閣、文化財説明板などを紹介したガイドマップです。

権現山探検
（８月３日）